

## 「一般国道2号 長府トンネル改修」の新規事業化の発表に係る知事コメント

本日、国土交通省から、「一般国道2号 長府トンネル改修」の新規事業化が発表された。

国道2号の下関市長府安養寺から勝谷新町間については、土砂災害特別警戒区域の指定など防災面での課題に加え、長府トンネルの老朽化や事故の多発など複合的な交通課題を抱えており、これらへの対応が急務であることから、地元期成同盟会とも連携しながら、これまで機会あるごとに、国に対し、その早期整備を訴えてきたところである。

こうした中、「一般国道2号 長府トンネル改修」が新規事業化され、大変嬉しく思っている。

国道2号は、中国縦貫自動車道や関門自動車道とともに本州と九州を繋ぎ、産業活動や観光交流、日常生活等を支える重要な主要幹線道路であり、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成する観点からも、国においては、当該道路の早期整備に向け、スピード感を持って取り組んでいただくよう期待している。

県としても、地元下関市と緊密に連携し、事業の円滑な推進に向けた環境整備等に積極的に取り組んでいく。

令和8年4月7日

山口県知事 村岡 嗣政